

第8分科会：環境・観光

テーマ 環境から考える地域の未来

副題 ～外国人住民・大学生がみつけた発見～

内容

山梨と環境をテーマとし、外国人住民や大学生の視点から、未来の持続可能な地域社会にむけた環境と共生する暮らしについて検討。

また、地球規模の環境問題から、日本の社会問題と環境について議論し、地域の未来を考える。



第8分科会：環境

第1部 外国人パネリスト

山梨の自然環境を生かした観光について

- 農村地域には大きな可能性がある。インバウンド向けの情報、多言語、アクセス整備などが求められる。
- 帯那でのビールづくりは、小さなことから始めたが、次第に地域コミュニティが応援してくれるように。
- 空き家や農地を活用すること、自らが行動することより、**未来の地域**が作れるのではないかと。



第2部 山梨県内大学生

環境と観光から見た山梨について

- 山梨には知られていない魅力的な自然や地域、環境に対する取り組みがある。
- 昇仙峡にあるユネスコエコパーク、自然豊かな芦川村、最新の温暖化防止対策4%イニシアチブなどなど
- これらの魅力を**将来世代**に繋げていくためには、愛着や感動がその地域を維持する原動力になる。
- すべての土地に対応できる環境問題の万能な解決策はなく、間違っ**て**取り入れて、その**地域**の良さが失われてはいけない。

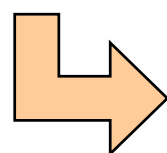


第8分科会：環境



現状とこれまでの取組み

- ・デイビット・エリス：山梨の魅力を外国人向けに広く発信。
- ・デイビット・プルーカ：甲府市帯那にクラフトビール工場を整備中。
- ・山梨大学学生：国内外のごみ問題等に関心をもち、甲府市の太陽光パネルと環境や防災面への問題にも着目。
- ・山梨県立大学学生：県内の景勝地や農村地域に資源を生かした地域活性化に取り組む。



課題

- 山梨県には、産業、観光面など、自然資源の活用余地が多くある。
- 人間の生活や経済活動を優先すると、自然環境への負荷がかかる。
- 太陽光は再生可能エネルギーであるが、斜面災害などリスクもある。
- 高齢化が進む農山村では、世代間や地域内外の交流がカギ。

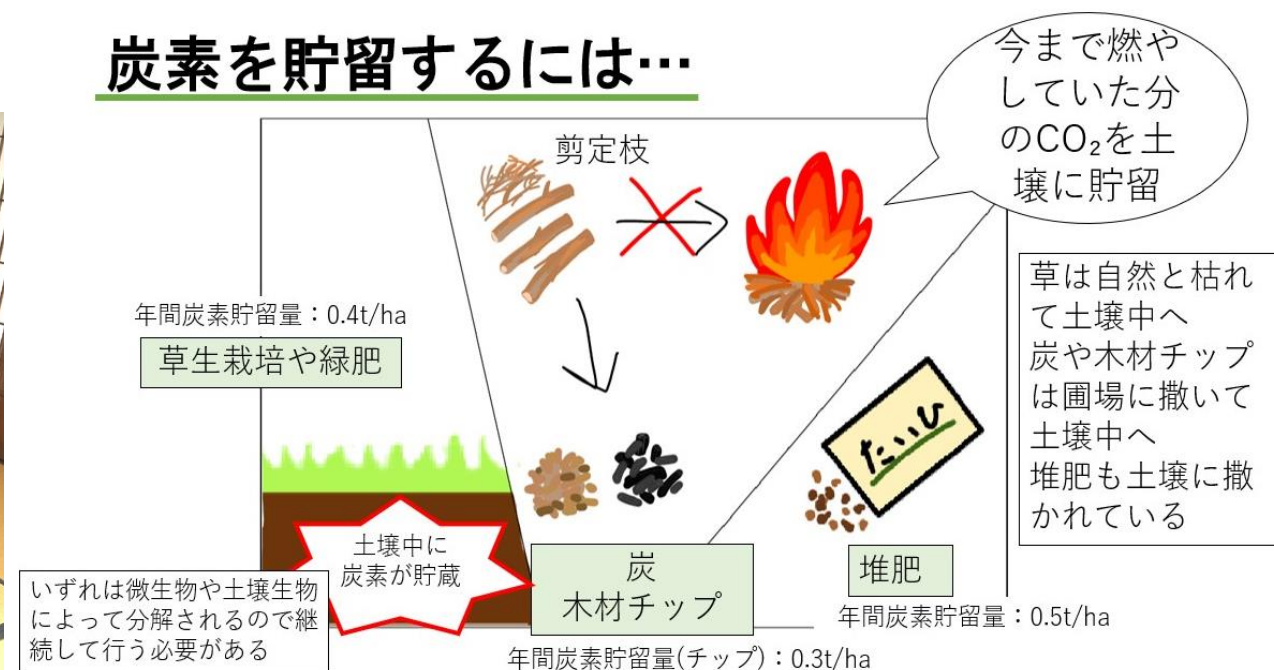
第8分科会：環境

取組み方針

- ・地域の高齢者や若い人材を活かすこと。
- ・山梨の自然豊かなスローな環境を大切にすること。
- ・4%イニシアチブをはじめとする山梨ならではの環境への取り組みを持続的に行う。
- ・身の回りの地域にも参加できる取り組みがあり、できることから始めていく。



炭素を貯留するには…



未来の目指す姿

- 農村部(地方部)が豊かに発展するように、若者が地域を深く知り、誇りに思い、地域コミュニティと仲良くなりながら、働いている姿を目指していきたい。
- 山梨には知られていない魅力的な自然や地域、環境に対する取り組みがある。これらの魅力を将来世代に繋げていくために愛着や感動をもって取り組むべきである。
例) 自然豊かな芦川、温暖化防止対策4%、
- 地域の特色を活かしながら、私たちが環境問題の解決に向けて身近なことから始めていくべきである。
例) 富士山のゴミ拾いツアー